



# 札私幼

《編集》  
札私幼広報委員会

《発行責任者》  
一般社団法人  
札幌市私立幼稚園連合会  
前田元照

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10  
札幌市生涯学習総合センター内  
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第164号

令和元年  
12月19日  
発行

## 第62回 北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会・ 第51回 札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催

令和元年9月27日(金)28日(土)の両日、「子どもたちの今と未来の幸せをねがって～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～」のテーマのもと、第62回北海道私立幼稚園教育研究大会札幌ブロック大会・第51回札幌市私立幼稚園教育研究大会が開催されました。

1日目は、各区の会員園から私立幼稚園・認定こども園20園と市立幼稚園2園の計22園の会場で、午前中は公開保育と保育研究、午後の分科会では各園様々なテーマでの実践研究発表やグループディスカッションなどが行われました。

2日目は、カナモトホールに会場を移し、全体会が行われました。セレモニーでは、大会長の前田元照札私幼会長、近藤宏北私幼副会長の挨拶に続き、ご来賓である北海道知事 鈴木直道様、札幌市教育長 長谷川雅英様、自由民主党札幌支部連合会会長 高木宏壽様よりご祝辞をいただきました。また、子ども未来局 支援制度担当部長 押見幹生様、日々幼児教育にご尽力くださっている札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の方々にもご臨席をいただきました。

基調講演では、「子どもの創造的想像力を育む保育者の役割～保育・教育のPDCAサイクルのよき循環～」と題して十文字学園理事・十文字学園女子大学特任教授・福岡女学院大学大学院客員教授・お茶の水女子大学名誉教授 内田伸子先生よりご講演をいただきました。「脳は生涯、新しいことを吸収し続け、様々なことを経験することで人生は豊かになる」という内田先生

の言葉を聞き、その経験を価値あるものにしていくことが私達保育者の役割であると改めて感じました。また、目指すべき子どもへの働きかけ方は“共有型”であり、子どもに考える余地を与えること、子どもに対して敏感で柔軟であること、3つのH（褒める・励ます・広げる）の言葉でかかわることが共有型の大切なポイントであることを学びました。子どもの脳の発達と私達がすべき保育の相互性に関するお話を聞き、子ども自身が考え、経験し、決めるという子どもの主体性を大切にできる援助を見直すきっかけにもなるお話でした。

今年度も、二日間にわたりとても有意義な研究大会となりました。今回の学びを、各園における日々の保育のさらなる充実と子どもたちの成長、そしてこれからの幼児教育の発展に繋げていきたいと思えます。



## 令和元年度 第1回リーダー“カ”スキルアップ講座

札幌市私立幼稚園連合会主催の第1回リーダー“カ”スキルアップ講座が、7月17日(水)に(学)新善光寺学園しろいし幼稚園にて行われました。「保育の質を高める園内研修とは？」という議題で今回は、全日本幼児教育研究機構が創設したECEQ公開保育の手法を使った園内研修を実際に見せて頂きました。

ECEQとはふだん通りの保育の場面を他園の保育者が見学して、公開園の保育者と意見交換をしながら、自園の良さや課題を見つけていくもので、この日は▶自園の良さや課題を見つける ◀公開保育で期待したい成果を見つけるSTEP2の事前研修をECEQコーディネーター 大藤学園教務局長 大谷壮史先生の下、しろいし幼稚園のパートの先生を含む皆さんが学年ごとに分

かれ、田の字法を使い話し合いました。全員平等に話す機会を作る、また否定はせずに、頷き共感しながら聞くことがこの話し合いのポイントということで、しろいし幼稚園の先生方は、時折笑いが起きたり、共感の声をあげたりと経験年数に関わらず、積極的に意見交換をされていました。

その後、ECEQコーディネーターでもある札幌ゆたか幼稚園 丸谷雄輔園長から「ポートフォリオ」や「ビデオカンファレンス」等様々な園内研修の手法のお話を頂きました。園内研修とは個人だけではなく組織のレベルアップにつながり、保育の振り返りにもなる。相互に学びあう組織となるための研修である。との言葉に参加された先生方は深く頷いていました。



## 令和元年度 第2回リーダー“カ”スキルアップ講座

札幌市私立幼稚園連合会主催の第2回リーダー“カ”スキルアップ講座が、10月17日(木)に(学)星置学園 幼保連携型認定こども園 星の子幼稚園にて行われました。「幼児理解を少しだけステップアップ! 週案を楽しく書こう~とりあえず明日が楽しみだ~」というテーマで、目白大学人間学部こども学科准教授松永愛子先生を講師に、日頃星の子幼稚園で行っている園内研修を実際に観させて頂きました。

まず、イントロダクションとして、ねらいの立て方の3つのヒント(行動目標・認知目標・臨床目標について)と遊びを深掘する方法(1偶然2競争3ごっこ4眩暈)遊びを広げる方法の4つのヒント(1絵本2メディア3地域4家庭5他)のお話を頂きました。

その後、ワーク1として、今日の保育で難しかったことを先生方が縦割りのクラスによるグループになって話し合いました。ワーク2では、用紙の真ん中に、話し合う遊びを記入し、トピックウェブでどのような深掘り、広がりができるかを記入していった後、10日単位で子どもの姿を見通して週案を立てる段階までを、間近で見学させて頂きました。

先生方は積極的にアイデアを出したり、意見交換を行ったりしており、その表情は明日の保育を楽しみに、子どもを想う気持ちに満ち溢れていました。最後

に、松永先生が先生方の悩みに答え、その中で保育者がこんな風に育って欲しいと願うことが、子どもに伝わり、環境にも繋がっていくという話をされていました。日々の保育のヒントや、新たな園内研修を学ぶことが出来る研修会でした。



## 第47回 北海道私立幼稚園PTA連合会研修大会(札幌大会) 札幌市私立幼稚園PTA連合会50周年記念式典

令和元年度第47回北海道私立幼稚園PTA連合会研修大会(札幌大会)・札幌市私立幼稚園PTA連合会50周年記念式典が10月4日(金)12時30分から札幌市民ホール(カナモトホール)にてPTA連合会加盟園の保護者並びに教職員などが出席して開かれました。

初めに「札幌市私立幼稚園PTA連合会50周年記念式典」が行われ札幌市私立幼稚園PTA連合会佐々木和也会長の挨拶に続きご来賓として札幌市長秋元克広氏・札幌市私立幼稚園連合会前田元照会長の両名からご祝辞を頂きました。

その後10分の休憩をはさんで大会主題『新時代の子育て』令和を生きる子どもたちのために！を掲げて「第47回北海道私立幼稚園PTA連合会研修大会札幌大会」がスタート。

北海道私立幼稚園PTA連合会大越誠之氏のご挨拶の後、ご来賓の鈴木直道北海道知事代理として北海道法務局法人局長村井篤司氏と北海道私立幼稚園協会川畠教孝会長から祝辞が述べられました。

その後参加地区の紹介・提言・大会決議文宣言が力

強く読み上げられました。

引き続き記念講演「生きる力を育てる絵本の読み聞かせ」について明治大学文学部教授齋藤孝氏のお話が始まりました。ステージに登場するや否や、巧みな話術や所狭しと動く大きなアクションで聴衆者の私たちをしっかりと誘い込み、笑いや驚きの声が何度も沸き起こる時間となりました。

その後、閉会式において次年度は旭川地区担当となり旭川にて開催されることが公表されるとともに、大会旗が旭川市私立幼稚園PTA連合会会長に手渡され拍手の中で来年度の再会を約束し閉会となりました。



## 政令指定都市私立幼稚園団体協議会 第18回次世代研修会 堺大会報告

令和になり初の政令指定都市私立幼稚園団体協議会・次世代研修会が開催されました。

今年は8月22日(木)・23日(金)の2日間、大阪府堺市での開催でした。全国各地から次の幼児教育を担う若手の先生方が多く参加しました。「政令市私立幼稚園団体における次世代リーダーの育成」「新卒者採用と育成について」を主題に、主催の堺市私立幼稚園連合会も若手の先生が中心となり運営を進めていた研修会でした。

1日目は開会式の後、講師に一般財団法人・志ネットワーク代表/上甲 晃氏を迎え「人を動かす力」がテーマの講演でした。上甲氏は、松下電器から松下政経塾に転出。理事・塾頭常務理事・副塾長を歴任。そこでの経験をもとに話を展開し、その中でも「聞く力」は「心の力」、世の中には、「話し方」を学ぶ手立てはいくらでもあるが「話を聞く」講義や講座はなく相手の話をきちんと聞き取る力をどう身につけるかも大切ということや、時には相手に不便や不親切を与えることが「自分で考える力」につながる。また、今の若い世代には通じない日本語や言葉の使い方があること。人に求めるなら自らもやる(行動に移す)、これらが人を育てる上でとても大切だという沢山の【キーワード】をいただきました。

2つ目の講演は「新卒者採用と育成について」をテーマに、関西圏で人材派遣・紹介会社を展開しているベルサンテ・保育キャリア支援課の上村 佳久氏が、人

材派遣・紹介をするだけでなく園や養成校の状況を踏まえ把握する中で、新卒者が辞めない組織作りや採用力の強化には何が必要なのか、その取り組み方法のお話を中心でした。これもとても参考になりました。

2日目は、大阪府内そして令和初の世界遺産登録となった「百舌鳥・古市古墳群」その中でも堺市にある「仁徳天皇陵」は日本最大級の古墳。その仁徳天皇陵見学から始まりました。

ご存じの通りあの形で古墳を見ることは出来ません。入口までは行けますがそこではボランティアの方から古墳にまつわるお話を伺い、隣接の博物館でドローンを使ったVR体験と再現映像で全体像を見ました。そして、堺市は「千利休生誕の地」でもあり「立礼呈茶互体験」では古墳を象った茶菓子とお抹茶をいただきました。茶室のある庭園には国指定重要文化財の旧浄土寺九重塔もありました。この他にも堺市は大阪商人のルーツのひとつでもあることや、「与謝野晶子生誕の地」でもあり、わずかな時間でしたが堺市の歴史に触れることも出来ました。若手とういうには少々無理があるような私が(他市からの参加は殆どが30代の先生方でした)この様な普段経験することのない貴重な時間を過ごさせていただき有難い気持ちであります。

感謝の気持ちと共に今回の学びを今後、役立ててゆきたいと思っております。

(澄川幼稚園・米永 桃子)



## 第2回札幌幼児教育セミナー

8月30日(金)18:00~21:00の3時間、ちえりあホールにて第2回札幌幼児教育セミナーが行われました。今回は、「遊びの育ちを見つめる」という演題で、共立女子大学家政学部児童学科教授田代幸代先生にお話して頂きました。免許更新講習と併催であるため、多くの先生方(セミナー209名・免許更新講習70名)が参加しました。

はじめに、なぜ保育の質が求められるようになったのかという社会的背景について詳しく説明して頂きました。その後、世界の教育の流れ、日本の教育改革、「幼稚園教育要領」改定のポイント等を分かり易く教えていただきました。

貴重な保育現場の写真を沢山見せて下さり、事例を通して「なぜ遊びが重要なのか?」「遊びを中心とした保育をどのようにつくるのか?」をお話していただき、日々の保育を見つめ直す良い機会となりました。

子どもの姿や思いをどのように捉えたのかによって、また、子どもの経験している内容を丁寧に読み取ること、その後の保育者のかかわりが変わってくることの事例を見せて頂き、保育者が子どもの遊びを見つめる力を身に付けることの大切さを学ばせて頂きました。

また、保育者は高い専門性が求められることを改めて実感し、保育の質を保証するためには、保育者が「子どもを理解する力」「環境を理解する力」「保育を構想する力・カリキュラムマネジメント」等を磨いていかなければと思いました。

保育を取り巻く社会的背景から日々の保育に生かせる具体的な内容まで幅広く沢山のことを学ばせて頂きました。本日のセミナーで教えて頂いたことを生かして、「遊びを中心とした保育」について、しっかり考えていかなければと思いました。



## 第3回札幌幼児教育セミナー

札幌市私立幼稚園連合会主催「第3回札幌幼児教育セミナー」が、11月15日(金)に、ちえりあホールにて行われました。今回は、北私幼免許状更新講習(一日目)も兼ねて行われ、約250名の先生方が参加されました。

講師には、北海道大学大学院教育学研究院准教授川田 学先生をお招きし、「幼児理解の原点をかんがえる」をテーマに、5つのキーワード「主体性」「発達」「遊び」「環境」「個と集団」を挙げて、講演していただきました。

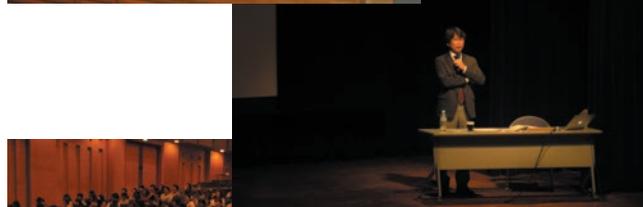
主体性には、よくある考え方が2つあり、1.子どもの好きなようにさせるのが主体性・自己決定の尊重である(主体性=放任論)2.人に影響されないで決定する主体的な自己決定である(主体性=自己論)。川田先生は、子どもを放任するのではない、そして子どもがすべて自分で決めて自分の思い通りになるという事でもない。主体性とは、子どもが何かとの関係を積み重ね、その関係性が深まったり、広がったりしていく事と話されました。

発達や遊びについては、事例や実践記録を通して話していただき、子ども達の遊びが広がっていく姿や教師の働きかけが目に見え、子どもと保育者との関わりが深まっていくことが伝わってきました。援助には、言葉かけが重要な意味を持つということで、子どもが興味関心を高めるような言葉かけをし、共感したり、問いかけたり、解釈がとても大切であることを改めて感じました。

そして、保育者の重要な仕事は、適切な環境を用意するという事でした。

「やらせよう」から「やってみたい」と子ども達の気

持ちを高めていく保育が大切だと思いました。保育者自身が子どもと一緒に興味関心をもって研究心を深め、生き生きと過ごすことを忘れてはいけずと教えていただいた時間となりました。



## 令和元年度 第1回・第2回認定こども園園長会

### ＜第1回 認定こども園園長会＞

9月4日(水)に令和元年度第1回認定こども園園長会が札幌市生涯学習センター(ちえりあ)で開催されました。認定こども園園長会は今年度からの新規事業となり、①認定こども園委員会で検討中の課題について情報提供を行うこと、②認定こども園が札私幼加盟園全体の3分の1以上を占めるようになった中で、認定こども園間で情報共有できる機会を設けることを大きな目的としています。

この日は初めに、認定こども園委員会より、幼児教育・保育の無償化にむけて想定される課題について情報提供が行われた後、5つのグループに分かれてグループ懇談が行われました。グループ懇談では、幼児教育・保育の無償化や、認定こども園を運営していく上での課題等について話し合われました。

参加者アンケートでは、「幼稚園、保育園の園長会の際には聞くことができない貴重な情報を得ることができ、運営していく上での悩みも共有できた」、「同じ社福のグループで共通の悩みや課題について意見交換でき大変勉強になった」等のご意見を頂きました。

### ＜第2回 認定こども園園長会・懇親会＞

11月26日(火)に令和元年度第2回認定こども園園長会がホテル札幌ガーデンパレスで開催されました。この日は札幌市子ども未来局子育て支援部施設運営課運営係長の田村滋章様、札幌市子ども未来局子育て支援部施設運営課給付係長の藤間雅尚様にお越し頂き、幼児教育・保育の無償化スタート後の課題等について参加者との意見交換会が行われました。意見交換会では、教育・保育給付認定、施設等利用給付認定、預かり保育の償還払いの手続きの簡略化や、各市町村で異なる報告様式の統一、保育教諭不足対策、無償化後、増加傾向にある預かり保育の利用に対応する為、預かり保育担当者の処遇改善について要望がなされた他、一時

預かり事業(幼稚園型)の定員変更の手続きについて確認がなされました。

その後、5つのグループに分かれてグループ懇談が行われました。田村係長、藤間係長には引き続きグループ懇談にも同席して頂き、参加者は現場の意見や想いを直接伝えることができました。

園長会後には同じくホテル札幌ガーデンパレスにて懇親会が行われました。懇親会にはご来賓として札幌市子ども未来局長の山根直樹様にお越し頂き、親睦を深めながらも、運営上の課題や現場の思い等、参加者の声に真摯に耳を傾けて頂きました。

参加者アンケートでは、「札幌市子ども未来局の方に自分達の考えを伝えられて良かった」、「グループ懇談では、沢山の意見を聞くことができ良かった。自分の想いが他の園長先生と同じということがわかり、問題は声をあげていかなければならないと感じました。」等のご意見を頂きました。

(認定こども園委員長・古川多三和)



## 令和2年度・予算要望活動

今年度も札私幼執行部は、各区の理事の皆様を通じて会員園からのご意見や要望を取りまとめ整理をした札幌市への【令和2年度の予算に対する要望書】を11月25日(月)に市役所へ持参し予算要望を行いました。当日は、札幌市私立幼稚園振興議員連盟の市議会議員の皆様同席のもと、前田会長はじめ札私幼総務委員・札私幼P連副会長が出席し行いました。

前田会長から町田副市長へ、内山P連副会長から長谷川教育長へ要望書を手渡し、敷副会長から要望趣旨

を説明致しました。特別支援事業では一園当たりの基準額の単価を専門職としての時給設定になるようさらなる増額を要望。また、年々厳しくなる人材確保に関しても預かり保育の充実などを通して待機児童の解消に大きな役割を果たしている私立幼稚園や認定こども園の状況を踏まえ、優秀な人材を確保するためにも保育所と同等の支援を求めるとともに、人材確保に関する新規事業の拡充を要望致しました。また、P連からは札幌の子ども達の育ちに焦点を当てた私立幼稚園・認定こども園への補助制度の拡大を含めた要望をしました。

この予算要望の結果についての詳しいことは改めてお知らせ致します。



### 予算要望書

#### 札私幼

- ① 特別支援教育事業
- ② 教材教具補助事業
- ③ 新制度に係る事項
- ④ 研修費等助成事業(団体補助)
- ⑤ 人材確保事業(幼稚園教諭・保育教諭)
- ⑥ 災害対策に係る事項

#### 札私幼PTA連合会

- ① 幼児教育・保育の質向上のためのさらなる公費助成
- ② PTA団体助成金

## 札幌市幼稚園初任者段階における研修

3日間 密着取材!

2019. 7.24 (水) ~7.26 (金)

今年度も幼児教育センター指導主事の先生方そして札私幼研究委員の先生方が中心となり企画・運営を行っている初任者段階における研修会が開催されました。

この春、市内の幼稚園・認定こども園に新採用された先生を対象に5月・6月・7月・1月と年に3回行っている研修会。昨年からは夏の研修も滝野での宿泊研修ではなく3日間【ちえりあ】での開催に変え、効率的に進められるよう配慮されています。

1日目!!

この研修に入る前、5月の研修で主旨を聞いていることもあり学ぶ姿勢がうかがえる初日でした。講師紹介から始まり、午前は【1学期の振り返り】をグループワーク形式で行いました。付箋に【保育】と【社会人として】それぞれのテーマに基づきキーワードを書き、思いを言葉で伝え合いました。保育では、1学期の手ごたえ・気づき・課題などが中心に書かれていました。社会人としては、成長したこと・学んだこと・反省などが出ていました。各グループに研究委員の先生が入り時間をかけたグループ討議が行われました。午後からは【先輩教諭から学ぶ】をテーマに先輩教諭(2~3年目)編・園長/副園長/主任編とそれぞれ経験の違う先生からの話を真剣に聞き入り、時には笑いも出るなど和やかな時間となりました。

2日目!!

子どもの見方、関わり方を深めていくために、午前中は2歳児・3歳児、午後からは4歳児・5歳児についてビデオカンファレンスを行いました。様々な場面の子どもの姿から感想や気づいたこと、子どものその時の気持ち、自分だったらどのような援助をするかという視点でワークシートに書き出した後、グループで話し合いました。2日目ということで、緊張もほぐれ、進んで意見を交換し合う姿が見られました。いくつかのグループに発表してもらいましたが、自分の気づきだけでなく、色々な考え、捉え方を感じ、仲間と共感することで、子どもへの理解を更に深め援助について考えることが出来たことが伝わってきました。まとめの話の中で、今回の研修は日々の日案、指導案作りにもつながり、力になっていくとの言葉を真剣な表情で聞いていました。

3日目!!

最終日は実践研修として【遊びのスペシャリストになるう!】をテーマに行われました。札幌国際大学短期大学部准教授・岡部 祐子先生を講師に講義と実技を通して学びを深めました。身体を動かす遊びのアイスブレイクそして講義(専門家として遊びを構想する着眼点)の後、実際に身体を動かし【わらべうたあそび】【鬼ごっこ】などを繰り返しました。体育館いっぱい先生達の声が響き渡り汗をかきながら、学ぶと言うより楽しむ姿が見られました。先生が楽しむことも時には大切で、遊びを通して育つ子どもの力などについても学んでいました。



今年度の研修プログラムは、この後【冬】にも開催予定です。5月のオリエンテーションから始まり6月の保育参観研修そして今回の【夏の研修】と終え、子ども達と同じように成長してゆく新規採用の先生方と過ごす3日間は、取材をしていて自分自身も学びの場になりました。様々な面で成長を遂げられるよう考えて下さる幼児教育センターの指導主事の先生方そして札私幼研究委員会の先生方に、参加させる園側としては大変感謝しております。この学びを心に持ちながら各園で奮闘していることと思います。

だいすき

第5回

## マッキーの文房具

開ける

カール事務器 Putitto

プチット 穴あけパンチ

穴あけパンチも仕事でよく使うアイテムだと思います。パンチというと、大きく重いので持ち運ぶ文房具というイメージはないと思いますが、そんな概念を変えてくれたのがこの「Putitto」！！大きさは消しゴムサイズなので、ペンケースにも入ります。穴あけ枚数は1枚です。はじめに、紙を真ん中で半分におり、折った紙をコーナーガイドに合わせて Putitto の隙間に差し込みます。ボタンを押して穴をあけ紙を広げるとバインダーなどに挟むことができる位置に2つの穴があきます！！使わないときはロックをして、よりフラットでコンパクトに。ダストカバーも付いているので、ゴミも散らかりません。沢山のものを閉じるときには不向きですが、ちょっと穴をあけたいときには、便利です！！

カラー : イエロー・ブルー・ピンク

本体価格 : 450円



アッシュコンセプト

留める

Ninjapin ニンジャピン

文房具とは少し違うかもしれませんが、最近見つけたお気に入りを紹介させていただきます！壁に優しい、ピン跡が目立たない忍者ピン！！画鋲を壁にさすと、丸い穴が目立ちますよね。賃貸マンションの私も、なるべく画鋲を使わず、壁に貼れるテープ等を活用していますが、ピンで留めたいものの中にはあります。そこで、この忍者ピン！なぜ跡が残らないかというと、秘密はV字ピンの断面形状。少し凹凸があり、薄い柄、色のついた壁であればピン跡を探してもなかなか見つけられないほどです！！カラーはブルー・ブラウン・クリアー・ブラック

・ホワイトです！！

本体価格 15ピース 880円

5ピース 440円



5月1日に新しい元号、令和になりましたが、「平成」時代、画期的な文具がいくつも生まれていました。その代表と言える一つが、「フリクションボール」ではないでしょうか。書いた文字を裏側のボールで擦ると摩擦の熱によって字が消える！！最初使った時は驚きました！皆さん一度は手にしたのではないのでしょうか？また、平成で大ブームといえば、マスキングテープ！！それまでの工業用品という概念を取り払った、平成20年に誕生した、『mt』。今ではおしゃれなアイテムとして様々な場面で活用されています。平成はリーマンショックで多くの企業が経費削減のため文房具の支給をストップ。文具は自分で買うという意識が浸透したこともあり、こだわりの名文具が生まれたのかもしれない！！

貼る

コクヨ

GLOO(グルー)  
スティックのり

スティックのりも良く使うアイテムではないでしょうか？今回紹介する「GLOO」は「角まで塗りやすいスティックのり」です。今までの形は円形状のものだったのですが、こちらはボディ、のり部分が四角いため、角までしっかり塗ることができます。のりがはみ出すのでチラシの上で塗る手間が省け、気を付ければ、そのまま角まで塗れます！！また、塗っている途中で机の上に置いた時に転がって落ちてしまうことが私は良くあるのですが、こちらは四角いので、転がりません！！キャップ内でこぼれたのりが、固まることで開けづらくなってしまわないよう中空構造にし、さらに大きめのフチを付けることで、片手でも簡単に開けられるようになりました。「しっかり貼るタイプ」と「色が消えるタイプ」があります。

本体価格 Sサイズ 130円 Mサイズ250円 Lサイズ380円





# 連台会日誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き  
(予定を含む)

7月17日(水) 第1回リーダー“カ”スキルアップ講座(白石幼稚園)  
7月22日(月) 振興委員会  
7月24日(水) 総務委員会・理事会  
7月24日(水) 初任段階における研修「理論・実践研修1」～26日(金)(ちえりあ講堂他)  
8月2日(金) 初任段階における研修「理論・実践研修3(2年次)」(ちえりあ講堂)  
8月6日(火) 特別支援教育支援担当者研修(WEST19講堂)  
8月22日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会次世代研修会堺大会  
8月28日(水) 広報委員会  
8月28日(水) 札幌市幼児教育講演会(エルプラザホール)  
8月30日(金) 札幌幼児教育セミナー〔免許更新併催〕(ちえりあホール)  
～31日(土) (かでの2・7大会議室)  
9月3日(火) 広報委員会・就職フェア説明会  
9月4日(水) 認定こども園委員会  
9月6日(金) 研究委員会  
9月12日(木) 振興委員会  
9月13日(金) 特別支援教育支援担当者研修(ちえりあホール)  
9月16日(月・祝) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)  
9月17日(火) 総務委員会・理事会  
9月19日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会東京理事会(東京都)  
9月25日(水) 進路のミカタLIVE(つどーむ)  
～26日(木)  
9月27日(金) 教育研究大会 公開保育研究・分科会(市内22園)  
～28日(土) 教育研究大会 全体会(札幌市民ホール)  
10月1日(火) 広報委員会  
10月4日(金) P連50周年記念式典兼全道研修大会(札幌市民ホール)  
10月17日(木) 第2回リーダー“カ”スキルアップ講座(星の子幼稚園)  
10月18日(金) 特別支援教育支援担当者研修(ちえりあホール)  
10月21日(月) 総務委員会・理事会  
10月29日(火) 研究委員会

11月7日(木) 振興委員会  
11月7日(木) 特別支援教育研修会「授業公開・交流研修」～12月12日(木)(各区小学校)  
11月8日(金) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会運営委員会(静岡市)  
11月15日(金) 札幌幼児教育セミナー〔免許更新併催〕(ちえりあホール)  
～16日(土)(ちえりあ講堂)  
11月25日(月) 札幌市への予算要望書手交式(市長会議室)  
11月26日(火) 認定こども園委員会・認定こども園園長会(札幌ガーデンパレス)  
12月10日(火) 総務委員会・理事会・養成校懇談会(札幌ガーデンパレス)  
12月13日(金) 特別支援教育支援担当者研修(アスティ45)  
12月18日(水) 特別支援教育研修会「講演」(かでの2・7)  
1月10日(金) 初任段階における研修「理論・実践研修3(2年次)」(市立札幌大通高校)  
1月15日(水) 初任段階における研修「理論・実践研修2」～16日(木)(ちえりあ講堂)  
1月20日(月) 総務委員会・理事会・永年勤続表彰・新年交礼会(札幌ガーデンパレス)  
2月3日(月) 振興委員会  
2月6日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会 静岡協議会  
～7日(金)  
2月12日(水) 乳幼児研修会(かでの2・7)  
3月2日(月) 総務委員会・理事会・代表者会議・臨時総会(札幌ガーデンパレス)

## 【令和2年度の主な予定】

5月15日(金) 総務委員会・理事会・代表者会議・定時総会(札幌ガーデンパレス)  
7月上旬 P連ふれあい交流会  
7月13日(月) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会広島大会  
～14日(火)  
9月22日(火・祝) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)  
9月25日(金) 教育研究大会 公開保育研究・分科会  
～26日(土) 教育研究大会 全体会(札幌市民ホール)



10月から幼児教育・保育の無償化が始まりました。預かり保育無償化の対応、園則・運営規程の変更など、新たな手続きが多々あると思いますが、このたびの無償化は、施設を利用する保護者の方々の負担が一気に減る革命だと思えます。今後さらに多くのお子さんが、良質な幼児教育・保育の環境に出会えることを期待しています。

また、今年是有給休暇の取得義務や労働時間の客観的把握などを盛り込んだ、改正労働法が施行された年でもありますが、当園はこれまで出勤簿にハンコをポン！だったので、就業規則の変更や勤怠アプリの導入検討等で対応に追われています。労働環境の改善によって雇用を維持・拡充したいという思いもあります。(個人の感想です。)

無償化や法改正に伴う手続きを担当された先生方、今年は色々とお仕事が増えて大変だったのではないのでしょうか。年末年始はゆっくりと不安なく過ごしたいですね。

我が家では、リングフィットアドベンチャー(エクササイズして冒険を進めるというゲーム?)に、大人が夢中です。一番きついモードにすると、導入部分の小手調べミッションからして腕・腹筋・太ももの限界を迎えます。走った距離や消費カロリーに達成感を覚えますし、ゲームとして道を進み敵を倒すため、汗だくで取り組んでいます。このソフトとスプラトゥーン2が我が家の大人の2大ゲームです。

今年も広報委員会の企画・取材等にご協力いただき、誠にありがとうございました。楽しむ心を忘れずに、来年も札私幼の皆様と様々なミッションに関わっていきたく思います。(広報委員・石原 範明)

